


























説明医師

説明看護師(外来)

様へ





看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	手術前日	当日(術前)	当日(術後)	術後1日目
目標	○心身ともに安定した状態で手術を受けられる ○治療に対する不安を表出できる		○術後合併症を起こさない○看護師の付き添いで歩行ができる(出血、深部静脈血栓症、肺炎、縫合不全、感染、腸閉塞)	
検査			 ・胸腹部のレントゲン撮影  ・採血	○食事のとり方が理解できる
食事	・夕食後絶食、21時以後絶飲食 ・経口補水液は麻酔科の指示で服用 朝食は自宅  		絶飲食	水分のみ可(医師の指示による)  
処置・観察	・リストバンドを装着します(退院日まで) ・弾性ストッキングのサイズを測定しお渡しします ・臍処置します(シャワー前)	 時間になれば看護師が手術室にご案内します	手術後以下の挿入物、装着物があります ・酸素マスク → 取り外します ・心電図モニター → 取り外します ・点滴の管 ・背中中のチューブ(鎮痛剤) ・創部の管(ドレーン) ・尿道カテーテル ・フットポンプ(血栓予防)	術後2~3日で抜去します 術後2~3日で抜去します  創部の観察、処置を行います
 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります				
注射・内服	 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください  眠前下剤を服用します	 手術室で点滴を開始します(手術が午後の場合は、病棟で点滴を開始します)	 以下の点滴を行います ・持続点滴 ・鎮痛薬 ・抗菌薬	 血栓予防薬皮下注射をします
行動・リハビリ	 シャワー浴洗髪をします  制限ありません	 以下の手術準備をします ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し	 午前中全身清拭します  手術着からパジャマに着替えます	 看護師の付き添いのもと歩行可となります
説明・指導	 医師・麻酔科医より(外来又は入院時) ・治療計画について ・手術について ・麻酔について  病棟・手術室・看護師より ・入院生活について(パスシートを使用) ・手術について  薬剤師より説明 ・お薬について ・持参薬確認	 医師より ・手術の経過について	 栄養士より ・栄養相談(術後2日目頃)病室で	

**\* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください**

\* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

\* この表はおよその経過をお知らせしたものです種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日 ~ 月 日	月 日	月 日 ~ 月 日	月 日 ~ 月 日
経過	術後3日目	術後4~5日目	術後6日目	術後7~8日目	術後9~12日目 (退院)
目標	○食事形態が変わることになれる ○食事のとり方が理解できる		○順調に食事をとることができる ○腸瘻の管理をマスターしていく		○退院後の生活について不安な事を伝えられる
検査	 胸腹部のレントゲン  採血		 必要時、胸腹部のレントゲン・採血 		
食事	分割食 (3分かゆ)		分割食 (5分かゆ)		退院日は朝食のみ
					
処置・観察	以下の挿入物があります ・点滴の管 → 点滴が不要となれば抜去します ・背中のチューブ → 術後2~3日で抜去します (鎮痛剤) ・創部の管 → 状況を見て術後4~5日で (ドレーン) 抜去します ・尿道カテーテル → 術後2~3日で抜去します		点滴が不要となれば抜去します		退院時、リストバンドを外します
	 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります				
注射・内服	 以下の点滴を行います ・持続点滴 →		 6日目で点滴が終了します		
	 血栓予防薬皮下注射をします →		術後7日目まで		
行動・リハビリ	 状況に合わせて、看護師が全身清拭します		 創部の治癒状況に合わせてシャワー浴を再開します (週3回、病棟毎日が異なります)		
	 看護師付き添いのもと、リハビリを開始します (安静度やリハビリの進行には個人差があります)				 (退院日) 朝食後退院です
説明・指導				 栄養士より ・栄養相談 (術後7日目) 栄養相談室で	 医師より ・退院後の治療計画、療養上の留意点について  看護師より ・退院後の療養生活について (退院療養計画をお渡しします)

